

## 第6回長浜市市民協働推進会議 概要

市民協働部市民活躍課

- I 日 時 令和元年11月27日(水)午後6時00分～午後8時05分  
II 場 所 長浜市役所1階多目的ルーム4  
III 出席者 森川会長、西川副会長、川瀬委員、板山委員、中山委員、大橋委員、  
國友委員、東委員 計8名

### IV 内 容

#### 《議 事》

#### 2(1) 中間支援組織について

- ・資料1(p.1-p.12)に基づき、中間支援組織について市民活躍課から説明

#### 【意見等】

#### ＜草津市方式＞

- ・草津市コミュニティ事業団のまちづくり協議会への支援の半分は、しがNPOセンターに委託している
- ・草津市事業団は、まちづくり協議会の支援と指定管理で手一杯
- ・委託に出すとスキルや知識が全部外に逃げてしまう
- ・草津と長浜で民度が違うので、草津でさえできていないものを見本にしなくても良いのではないか

#### ＜欲張りすぎ＞

- ・あれもこれもはできないので、長浜でまずこれが必要だというものを優先順位をきちっと付けてやるべき
- ・盛り込みすぎて消化不良に陥るのではないか
- ・理想はわかるが、最初にすべてを見せない方が良い(市民の落胆が激しくなる)

#### ＜地域づくり協議会支援＞

- ・地域づくり協議会の立場から言うと、中間支援組織の中で最優先に取り組むという位置付けをしていただけるとありがたい
- ・地域づくり協議会職員の育成などもこれからはしていかないといけないと思う
- ・地域づくり協議会の規模や実状がいろいろある中で、全体的な底上げが必要

#### ＜市出資＞

- ・最終的に指定管理になってしまうと、完全に民間になる可能性がある
- ・公である強い影響力をなくしてまで、指定管理にすることは、この事業の多さからしてどうかと思う

- ・指定管理ということよりも、市が出資をされて、その出資に基づいて市がコントロールされることも必要かなと思う

#### <市の関与>

- ・5年10年経っても引き続き支援できるような形を、庁内全体でどのように作っていくかが大切
- ・中間支援組織の設立に関して、行政は金を出すけど口を出さないような仕組みを作っておいた方がよい
- ・市と中間支援組織との距離感が難しい
- ・市の理解、財政面の支援と人的な支援は非常に大きいと思う

#### <東近江市>

- ・まちづくり東近江は、どちらかというと最初は市民活動やNPO支援であったが、ここ2年くらいはまちづくり協議会の支援の方にもシフトしてきている
- ・昨年度は全まちづくり協議会にヒアリングに行ったりしていた
- ・草津市みたいな一斉にやるやり方ではなく、それぞれのまち協が必要な支援をされている
- ・東近江市は市の方に理解があり、ウエイトの高い支援をされている

#### <指定管理・業務委託、人件費>

- ・市民協働センターの民営化がコストカットを狙ってするのでないのであれば、業務委託や指定管理に出されるときはしっかりと人件費を積算に計上していただきたい
- ・継続性や専門性を求めるのであれば、何年か働いて力がついてくると辞めてしまうようにならないように、金銭的な部分の評価をきちっとすべき
- ・長浜の中で一生懸命頑張れるスタッフが何人いるかにかかっている
- ・地域づくり協議会の指定管理でも人件費がかなり抑えられているが、人材確保をしようと思うと、ある程度給与は確保していかないといけないと思う

#### <淡海ネットワークセンター>

- ・淡海ネットワークセンターの場合、県と県内市町の100%出資なので、運営は任されているが、当然補助金によるコントロールが出る

#### <地域商社>

- ・農林政策課でやられている地域商社を作って、地域の良いものを外に売っていくことと、地域がしっかりと存続していくこととはすごく密接に関係するので、地域商社と中間支援組織を分けて考える必要はないと思う
- ・独自で稼ぐ方法も一緒に考えていけると良いと思う

#### <組織の分散化・部門化>

- ・岡山の場合は、一つの組織に埋め込むのではなく、部門化みたいに一つの組織を中心にどんどん新しい法人を作っていくみたいなイメージもある

- ・一つで抱え込んでいたらしんどいと思う
- ・寄附の部分は、全部最初から中間支援組織ではできないので、別の形で組織を作って、中間支援組織とお互いに連携してやるというパターンもありかと思う

## 2(2) 新しいお金の流れの創出について

- ・資料2 (p.13-p.20) に基づき、新しいお金の流れの創出について市民活躍課から説明

### 【意見等】

- ・企業版のふるさと納税の控除額が増えるというニュースがあったが、企業からの寄付をどのように受けるかということも入っていて良いと思う
- ・京都地域創造基金が独自のクラウドファンディングのシステムを持たれているが、既存のクラウドファンディングの事業者を使うと、手数料（20%とか）が外に出てしまうので、京都のようなことも検討されてはどうか

### <休眠預金>

- ・自己資金を20%用意しないと助成を受けられない
- ・当初聞いていた制度設計や金額の規模と全然違うし、研究段階ということで、資料としては出さない方が良いと思う

### <東近江市 SIB>

- ・出資している人たちが顔が見える人たちなので、事業をやられている方も、市の職員も、失敗できない・失敗させられないという緊張感がすごいと聞いている

## 2(3) 市民協働事業について

- ・次回（第7回）会議において議論することとなった

## 3 その他

- ・本日議論いただけなかった市民協働事業や答申内容等にかかる審議時間を確保するため、開催が決定している12月25日に加えて、もう1回会議を開催することを決定
  - ⇒ 第7回会議は、12月11日（水）午後1時30分から開催
  - ⇒ 第8回会議は、12月25日（水）午後6時00分から開催

## 4 閉会